



ファイナンス (Finance) の語源とは | 金融・経済の英単語



「ファイナンス (finance)」という言葉は、どこから来たのでしょうか。答えは、中世フランス語で「終わる、支払う」を意味する *finer* が語源となります。この *finer* に抽象名詞の語尾 *-ance* がついて、*"finance"* になりました。

同じ語源をもつ仲間に *"finish"* があります。映画の最後に「Fine」（イタリア語）や「Fin（フランス語）」と出るのを見たことがあるでしょう。いずれも「終わり」の意味です。*"finish"* の *-ish* は、言語学で「起動相 (inceptive)」と言い、「～し始める」という意味をもつ動詞につける語尾です。

他に *finer* から派生した語には、どんなものがあるでしょうか。*"fine"*, *"refine"*, *"define"*, *"confine"* *"finite"* を拾い出してみましょう。

"fine" という綴りの単語には、いろいろな意味があります。野球で「ファインプレー」というときのファインは「見事な、素晴らしい」という意味です。「終わり」から「究極」、「最上の点」というイメージの広がりからこの意味が出てきたのです。そして「細かな」「デリケートな」という意味が *re* という強めの接頭辞で増幅されて、*"refine"*（洗練された）という派生語が出来ました。

「罰金」を意味する *"fine"* という名詞もあります。これも「終わり」から「精算」の意味が出て「罰金」へと転義したものです。*"define"* は、ラテン語にすでに存在した語で *de-*（下に）と *finire*（終わる）から「明確に定める」>「定義する」となりました。名詞の *"definition"*（定義）は、時事的な文章でよく使われます。

"confine" は、「con-（完全に）＋ *finire*（境界を作る）」から「閉じ込める」というニュアンスになって、動詞の「制限する」、名詞の「境界」になりました。

理系の文献でよく見かける

"finite"（有限の）は、もともと *finire* (=finish) の過去分詞形でした。ちなみに発音は [ファイナイト； fɪˈnaɪt] です。反対語の

"infinite"（無限の）は [インフィニット； ɪnfəˈnɪt] です。注意してください。*"famous"* [フェイマス； féɪməs] と *"infamous"* [インフォマス； ɪnfəməs] のような関係です。

さて、文法用語で「不定詞」を意味する *"infinitive"* はこの形容詞形から出たものです。人称、数、時などが「制限のない不安定な動詞」ということです。

フランス語の過去分詞は、*infini* で「アンフィニ」と読みます（車の名前にありましたね）。*ad-* という接頭辞がついた *"affinity"* という英語は、「係」「婚姻（密接な）関係」「類似性」などを意味する語です。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部